

LPO

レッスン プラス ワン

Jul, 2001

28

ホームページ開設!

URL: <http://www.musenet.co.jp/lpo>

LPO編集室: 〒174-0063 東京都板橋区前野町3-43-7
 〒542-0063 大阪市中央区東平2-2-19

楽譜専門部 ㈱松沢書店内 TEL: 03-5970-5917
 楽譜専門部 ㈱楽販大阪内 TEL: 06-6762-9668



『空飛ぶモグラ』 わんぱくピアニストたちへ

はるはた
 春畑セロリ

小さい頃の私は空想癖が強くて、自分の中でいろいろな物語を育てて楽しんでいました。はにかみ屋で内向的な子どもでも、ところが変われば変わるもので、10歳を過ぎる頃からすっかり性格が豹変し、陽気で行動派のお騒がせ娘になってしまいました。今でもかつての性格の片鱗があちこちに顔を出していますが、幼い頃の思慮深さと少女時代のパワーはどこへやら、単なる空想好きなオチャヤケ者という、始末に負えない大人になっています。私の場合は極端かもしれませんが、どんな子どもも、そしてどんな大人も、さまざまな顔、さまざまな体質を合わせ持っているし、さまざまな空想世界、物語、希望、可愛らしい悩み、可愛らしい野望、そしてさらに、奥深いさまざまな可能性を持っているのだと思います。成長していくうちに、そのどれかは忘れ去られ、別のどれかは拒否され、封印され、また別のどれかは伸び悩み、折れ曲がってしまう。「ちゃんとした」大人になるために、この頃の頃に持っていた「ちゃんとした」自分、「自分らしい」自分、「ちよつと変なだけ、けつこう魅力的な」自分、「自分からいん忘れてしまうのです。大人は、子どもたちを育てているつもりで、案外、可能性をつぶしているのかもしれない。過激でもヘンテコでも常識外れでも、可能性は可能性だとするならば……!

◆子どもたちの脳ミソを刺激したい!

私が今回、ピアノ曲集「空飛ぶモグラ」わんぱくピアニストたちへ(音楽之友社)を書き下ろして出版させていただくことになったとき、まず考えたのは、いくつものタイトルでした。子どもの世界、子どもの関心事っておもしろい。彼らの日常は、他愛がないようで、実は一筋縄じゃいかない。気楽なようで実は悩みに満ち、甘えるようで実は冷静で賢く、乱暴なようで実は繊細。そんな子どもたちの生活の中、ありふれた、でも純粋なヒトコマを取り上げようと思ったのです。

そして「おとぎ話はキラリ」とか「空をさわりたい」とか「ちよつと好きな女の子」などの各曲のタイトルを見て、「あ、僕みたい」とか「え、何これ」とか思ってた欲しかったのです。そして勝手な想像をいっぱいして欲しかった。自分の世界をいろいろ模索し

て欲しかったのです。そのために短い詩もつけました。音楽に對する蛇足の説明をするためではなく、子どもたちに、自由で具体的な想像への手がかりをプレゼントしたかったからです。

◆子どもたちのハートを刺激したい!

まず子どもたちには(もちろん大人たちにも)、自由に弾いてみていただきたいと思えます。速く弾くもゆつくり弾くも、強く弾くも弱く弾くも自由です。あ、ステキと思ったら、ステキに弾き、退屈と思ったら退屈に弾いてほしい。自分で感じ、自分の表現をしてくれたらなあと思えます。「ここはフォルテよ!」とか「ここは悲しいのよ!」なんて先生に叫ばれる前に、まず自分で自由に感じてほしい。だから、難解な音楽表現やひとりよがりな芸術性は極力避け(というか、根が単純で凡人なので、こうしかならなかつたというウワサもある)、子どもたちにもわかりやすい、平易で率直な表現や音使いを心がけました。

◆子どもたちの小さな指先を刺激したい!

そして、曲の魅力を小さなピアニストたちが自分でつかんでくれたなら、きっと自分自身で魅力的なタッチを探してくれる。この音はそつと弾き、この音はふんわり響かせる。このパートは歯切れ良く、ここはどつしり重みかける。そんな自発的なテクニックを子どもたちが探求し、見事に仕上げてくれることを、この空想癖のある、お気楽者の作曲者は密かに期待しているのです。

●プロフィール



東京芸術大学作曲科卒。ビデオ、舞台などの音楽や、楽譜出版物、教材等の作曲、CD、音楽ソフトの制作、音楽書の執筆などで活躍中。
 ●著書
 「パッハ連弾パーティー」「子どもピアノワールド①②③(共著)」「以上音楽之友社」
 「ピアノの悩みを解決する本①②③」「ピアノ・アレンジの謎を解く／超人門編」(以上ヤマハミュージックメディア) ほか。

心ひらくピアノ

つちの けんじ
土野 研治

—— 自閉症児と音楽療法士のレッスンの記録

近年、ピアノの先生に大きな注目を集めている「音楽療法」。LPOでも取材を行っていたところ、自閉症の生徒に16年間ピアノレッスンを続けている一人の先生に出会いました。

その先生は土野研治先生。全日本音楽療法連盟（現「日本音楽療法学会」）認定の音楽療法士であり、音大音楽科を卒業後、3つの養護学校教諭を歴任、現在は昭和音楽大学にて教鞭を執られています。一方、生徒は松岡理樹（まきぎ）さん。14歳で土野先生と出会い、現在まで二人三脚のレッスンプラットフォームが続いています。

—— 理樹さんとのレッスンは、今年で16年目を迎えられるとのことですが、レッスン当初はどんなことが大変でしたか？

土野（以下「T」） まず最初は「ここにきいたらレッスンをする」という場面理解をしてもらったことが難しかったように思います。自閉症の大きな特徴の一つに、状況変化への対応の困難があります。私のところへはレッスンをある程度経験してから来ましたから、ピアノを弾くことには抵抗はなかったと思いますが、場所や先生が変わったという「状況のわかりにくさ」という点では、いぶん葛藤があったのだと思います。

それから、集中力の持続。最初のうちはおよそ15分が集中力の限界でしたので、15分したら手拍子やジャンプなどの違う課題をして時間をつないでいました。

あとは、順序性の理解。例えばメロディの掛け合いで、伴奏に合わせて私が「まさきくん」と呼んで、彼が「はい」と交互に応える、というようなことをうまく教え

るのが難しかったですね。

—— レッスンでは、具体的にどのような教材を使用されてきたのですか？

T 前の先生からは「いろおんぷ」によるレッスンを受けていましたので、最初はバイエル後半程度の小品集を使ったりしましたが、スケールを弾く時の指づかいをなかなか理解できないことなどがあり、彼に合ったオリジナル曲を作り、最初の3年くらいはそれでレッスンしていました。

ただ、年月を経っていくうちに、これだけのかなと疑問も湧いてきましたし、「メリーさんのひつじ」などの、もともと知っている曲では彼も良い表情をすることもあり、耳慣れた音楽を自分が弾けたということを実感してもらった方が喜びにつながるな、と思い、彼の知っている曲を取り入れることにしました。

一方、それと並行して「即興」を多く取り入れました。「即興」とは音楽療法でもよく使われる手法ですが、例えば「ドミニ」という音形をこちらが指定して、彼にはそれを弾いてもらう。それに対してこちらが即興的に伴奏をつけていき、その次は「ソシレ」というように、楽譜に頼らずその場ですぐ対応していく演奏法です。その子が今持っている力を利用して技術的な負担を軽減し、こちらがそれに色づけする、合わせるということをやりました。

また自閉症の場合には、トレーニングによって一つのことはできるようになります。が「応用が利かない」というのが大きな特徴であり、「こだわり」といわれる部分です。

●プロフィール

国立音楽大学声楽科卒業。NHK「午後のリサイタル」、日本演奏連盟「えんれんコンサート」に出演、ドイツリート、日本歌曲を中心に多くの演奏活動を行う。78年より23年間で埼玉県の養護学校3校を歴任、障害児の音楽指導や音楽療法の実践を行う。今年4月より昭和音楽大学助教授。各地の講習会やワークショップの講師として活躍している。

全日本音楽療法連盟（現「日本音楽療法学会」）認定音楽療法士、日本音楽療法学会評議員、国際表現病理学会会員、日本演奏連盟会員。

●主な著書



「心ひらくピアノ」鼎廣と音楽療法士の14年「標準音楽療法入門」(春秋社)「教育治療法ハンドブック」(福井出版)「音楽療法の実践」(牧野出版)他

例えば1つの曲を聴いたら一日中そればかり聴いてしまつとか。そういう「こだわり」への柔軟性を養うためにも、即興は大きな意味を持っています。

とはいえ、最初はすごく軌轢もありましたよ。「ドミニ」に移る時に、パニックになつちやったりとか。でも、その時にこちらが弾くのをやめてしまつとか、もう少し迫ってみるかの判断が指導者には求められます。いつも寄り添っているだけでは進展がありませんから。

—— 現在レッスンでは「連弾」という形を取っていらっしゃるようですが、それは16年の中で現在のスタイルに落ち着かれたというのでしょうか？

T そうですね。彼がメロディ、私が伴奏を弾いています。以前はそれをたまに交換というつもりでやりましたが、試行錯誤の末、今の形に定着しました。

—— 先日レッスンを見学させて頂きました

たが、男同士の連弾ということもあって、ものすごくパワフルですよ。確かあの時は弦も一本切れちゃいましたよね（笑）。

T ええ、あれからまた一本切れたんですよ（笑）。同時に2本切れたこともありますが、まあ、そういう場面は発散できるといってもいいから。

連弾にはいくつか意味があって、例えばその子がピアノを弾く力が3くらいしかないとしても、伴奏をつけることによって10まで引き上げることができると。すると、その子は10の喜びを体験できるわけです。また、彼が上達して5までできるようになったら、今度は伴奏を5に落とす。そして最終的には彼が一人でメロディを上手に弾けるようになってきたら、そのメロディを際立たせてあげる伴奏をする。それらを通じて「今自分はここまで弾けるんだ」という喜びをその時々で体験してもらおう。それが自分ができることの確認につながるんです。連弾では、指導者はただ単に音の彩りを加えるだけじゃなくて、できること、できにくいことを含めて、きちんと支えてあげることが必要ではないかと思えます。

一方、連弾には「かけひき」という側面もあります。レッスンでは、彼の音楽性を主体としてこちらが伴奏をつけてあげる場合もあり、「今度はこっちに合わせてね」と主体の逆転を試みることもある。それで例えばこちらが少し強い伴奏で引つ張り、彼が少し動揺したとします。そしてその結果、彼にとってよくない状態になりそうだったら元に戻し、そしてまた仕掛ける、というのをやる。そういうやりとりは非常に療法的なものですね。そのかけひきがどのくらい柔軟にできるかだと思います。

ただ、気をつけなくてははいけないのは、あえて相手の意にそぐわないことをさせ、その結果パニックになったりした時には、

7月の新刊&おすすめ本

おすすめの音楽書

今月の一冊

●心ひらくピアノ

自閉症児と
音楽療法士との14年

心ひらくピアノ

自閉症児と音楽療法士との14年



音楽があてられた

今月2・3面にてお話を伺いました、土野先生と松岡理樹さんの14年(発刊当時)にわたるピアノレッスンの記録。

出会い、試行錯誤の日々、パニック、ピアノでの対話、ステージ演奏…… 14年という年月の中で、お二人がともに経験し、成長を遂げてきた過程が、先生ご自身の「記録」という形で淡々と、しかし克明に綴られています。

「音楽を教える」とは? 「人の成長に関わる」とはどういうことなのか? そんな迷いを持つ方に、ぜひ読んでいただきたい一冊です。

(土野研治 著 春秋社 2100円)

《その他おすすめ書籍》

●フジ子・ヘミング 運命の力

photo & エッセイ集。ピアノ・人生・家族・恋愛などが、独自の世界観と飾らない文体で綴られています。たくさんの方のエネルギーをもらえる一冊。(フジ子・ヘミング 著 TBSブリタニカ 1800円 好評発売中)

●バッハの鍵盤音楽

バッハ研究第一人者シュレーンバーク氏による、すべてのバッハ鍵盤音楽の解説書。待望の日本語版。(D.シュレーンバーク 著 小学館 7800円 好評発売中)

* 教本・曲集 *

●モーツァルト・ピアノソナタ 演奏の手引き

モーツァルトの18曲のピアノソナタ全楽章の分析を網羅した本書は、モーツァルトのみならず古典期のソナタに含まれる全ての形式が図表で一目でわかる。好評既刊シリーズとともに、ぜひレッスン室にご常備下さい! (ヨセフ・ブロッホ/中村菊子/木幡律子 共著 全音 1600円 7/下)

●フランス・バロック舞曲集 ピアノで弾くフランス宮廷音楽

リュリ、ラモー、クーブラン、カンブラなど時代を代表する作曲家たちの、メヌエット、サラバンド、バスビエなど25種全45曲の舞曲を、拍子別、舞曲別に収録。

(ローランテジュネ、結城八千代 共編 音友 1600円 7/下)

●発表会用名曲集 子どもピアノワールド④

この巻は「バイエル〜ブルグミュラー程度」「おかあさん」「ダットン人の踊り」「馬馬に乗って」ほか。

(TAKE 11 KEYS 編 音友 1200円 7/下)

●ピア・チャ セカンド プラス

「ピア・チャ セカンドステージ」に対応。クラシックからカーペンターズまで、いろいろなジャンルの曲をやさしいアレンジで。

(小林 寛 編著 共同 1200円 7/下)

●CD付 カラオケ・バックで

ジャズ・ピアノ・パーティー 2500円

ポピュラー・ピアノ・パーティー 2500円

ブルグミュラー程度のアレンジですが、バック演奏と共にゴーギヤスな演奏が楽しめます! (橋本晃一 編 ドレミ 7/中)

●ピアノ・ソロ ピアニストの休日〜弾いて癒されるピアノ曲集〜

本紙26号でもご紹介した、待望の曲集。聴く人も弾く人も、みんなで心地よい気分になれますように…

(呉竹英一・たけうちゆみえ 共編 ドレミ 1500円 7/下)

●Music from Nature for Piano

神山純一 水の音楽 ピアノのために

<癒しの音楽>作曲家の元祖として知られる著者の音楽をピアノにアレンジ。森のせせらぎ、水滴の一つ一つの輝きを存分に味わって下さい。(神山純一 作曲 全音 1300円 7/下)

●たのしいソルフェージュ うたあそび① ピアノとともに

小さな生徒のための、歌を中心に音感とリズム感を身につけるテキスト。歌いながらリズムを打つ、踊る、ピアノを弾くなどを練習することによって、二つのことに同時に集中する能力を養います。

(遠藤蓉子 著 サーベル 1300円 発売中)

●バイエル程度で楽しめる

大人のラブサウンズ・ピアノ100曲集

クラシックからジャズ、シャンソン&カンツォーネ、ミュージカル&映画音楽、J-POPまで、ロマンチックなラブサウンズの数々を、やさしく楽しめるアレンジに。

(悠木昭宏 編 ドレミ 2000円 7/中)

●樋口あゆ子 悲しい酒

〜美空ひばり・オン・ピアノ

悲しい酒、リノゴ追分から愛燦燦、川の流れのように、まで全14曲をピアノ・ソロで。

(樋口あゆ子 編 ヤマハ 1800円 7/下)

* ヒット曲&TVテーマ曲 *

●ピアノ・ピース たこやき★サンバ

ただ今話題沸騰! 「モグモグGOMBO」エンディング、振り付けも収録! (kmp 500円 7/中)

●とっとこムム太郎 ピアノでひこう! ムムムソング

●ピアノ・たいさく ハムちゃんといっしょにピアノを弾こう
大人気、ハム太郎の曲集2点。「ハムハム」はポストカード付き、「ハムちゃん」は絵本楽譜となっています。レッスンノートも今月発売!

●ディズニー・ミニアルバム ラマになった王様

7月中旬公開予定の新作をいち早く。(ヤマハ 780円 7/中)

●千と千尋の神隠し(久石 譲)

この夏話題の宮崎アニメ! 音楽はもちろん久石譲。いち早く映画の雰囲気味わって下さいね。(シヨインー 1700円/ヤマハ 1500円 ともに7月中旬発売)

●ピアノ・ミニアルバム 波乗りジョニー(S.A.S)

この季節にぴったりの爽快感溢れるナンバー。(ヤマハ 500円 7/上)

●ピアノ・ソロ pure 2 ~be natural

久石譲によるカローラCM曲、ドラマ「百年の物語」主題歌など、おなじみの曲を多数収録! (シンコー 1700円 7/下)

※発売前の商品に関しては予定価格となっておりますので、発売後の価格が若干異なる場合がございます。あらかじめご了承くださいませ。